

2014年東京都中学校駅伝大会

総合成績

参加校 148校

順位 32位 (①36位→②38位→③39位→④32位→⑤32位→⑥32位)

タイム 1時間04分20秒

1区 3200m 木村 誠之 (中3)

区間タイム 10分53秒 区間順位 36位

1区を走った木村です。

僕は、昨年の駅伝でかなり悔しい結果になったので、「来年はこの順位（32位）を上回りたい」と言っていたのですが、内心「このメンバーでは無理かも」と思っていました。

春になり、1年生の入部を楽しみにしていたけれど、中長距離ブロックには誰ひとり入らず、更に同級生の一人が急に退部してしまい、この時点で中長距離ブロックは3年生が2人、2年生が8人と、駅伝に出ることさえ厳しい状況でした。この時早くも駅伝がチーム戦であることを痛感しました。

しかし、夏の終わりに野球部を引退した二人が中長距離ブロックに入ってきてくれました。これによって状況は一変し、結果、駅伝メンバーは僕とその2人、そして3年生と競っても問題のない2年生3人になりました。更に目標も、タイムは1時間03分、順位は20位に決まりました。これが決まった時は、目標をここまで高くできた喜びを感じ、特に元野球部の2人にはありがたく思いました。

そんな中、駅伝当日を迎えました。前日に皆で下見したことや、特に僕は去年経験したこともあり、それなりにリラックスして走れました。自分が走り終わった後は、応援をしつつ、順位を数え、時計とにらめっこしていました。しかし、終わってみると1時間04分20秒で32位と、目標には到底及んでいなくて、「このメンバーなら目標はいけたはずなのに、もったいないことをしたな」と思いました。

本来は3年生が主体となった出場するはずであるこの駅伝に、2年生から半数も出てもらい、情けなく思います。けれども来年のこの駅伝は、経験者が3人もいるという、上位を狙うのに最高のチャンスなので、2年生には頑張ってもらいたいです。

最後に、応援して下さった皆さん、ありがとうございました。



2区 3000m 高橋 直也 (中2)

区間タイム 10分22秒 区間順位 51位



中学駅伝で2区を走った中2の高橋です。

今回は中2が3人も出場するという過去にない駅伝でした。また、駅伝が開催される数カ月前までは中長距離ブロックの中3は数人しかいませんでした。だから駅伝もどうなるかと心の中でずっと考えて心配していました。しかしその後新たに中3が2人入部してきたため少しずつ希望が見えてきました。

そして駅伝メンバーも決まり、駅伝のチームとして団結していきました。そんな中先輩たちと話し合った結果、今年の駅伝の目標は1時間3分でゴールすることでした。駅伝当日、召集場所で待機していたときに他校の人たちの緊張感がものすごく伝わってきて、改めて「駅伝」というものを肌で感じました。そして先輩から襷を受け取った瞬間、襷の重みを実感しました。残り1kmぐらいになると体力も減ってきて、辛いときにたくさんの人たちが自分のことを応援してくれたので、無事に襷をチームに繋げることができました。また3000mのタイムも大幅に自己ベストを更新して嬉しかったのですが、チームの目標は達成できなかったのが悔しかったです。来年こそは絶対に1時間3分をきって、20位台には入りたいです。

最後に、応援に来てくださった皆様、サポートしてくれた陸上部の人たち、本当にありがとうございました。

3区 3000m 平松 真洋 (中2)

区間タイム 10分45秒 区間順位 45位



「駅伝」。これは僕が今年書き初めに選んだ文字です。多分、漠然と出れたらいいな、と思っていたのだと思います。

駅伝当日、一番緊張すると思われた襷の受け渡しでは、前走者が見えた途端、思わず「がんばれー」と叫んでしまい、不思議と早く走り出したい気持ちになりました。これは駅伝を走る前には想像もしていなかったことで、こんな気持ちになった自分に驚きました。

また、襷をもらってからゴールまではあっという間でした。前の人の背中が近いようで遠く、時計も押し忘れたため自分がどのくらいの速さで走っているのかも分からない中、沿道から聞こえた応援は励みになりました。とても感謝しています。ただ、タイムとしてはベストには及ばず、だんだんと悔しさがこみ上げてきました。そんな中、ミーティングでの先生の「駅伝って酷なスポーツだよな。速く走りたくても走れない、そんな時は本当に泣けてくるよね。」という言葉聞いて、果たして自分がそんな強い気持ちを持って走ることができたの

か、とも思いました。

来年こそは、上位を目指して「泣ける」ほどの走りをしたいです！

4区 3000m 梅本 悠佑 (中3)

区間タイム 10分44秒 区間順位 32位



4区を走らせていただいた中3の梅本です。

僕は9月に陸上部に入り、それと同時に駅伝について知りました。そこから駅伝までは一瞬でした。9月の大会での3000mでは序盤にペースを上げすぎてしまったため失速したので、今回はそこに気をつけて走りました。結果としては、3000mの自己ベストは更新できましたが、目標タイムには届かず全体の目標タイムの1時間3分には届かなかったため、悔しい思いをしました。高校でこの思いを晴らせられるよう頑張りたいです。

最後になりましたが、応援に来てくださった皆さん本当にありがとうございました。

5区 3000m 大関 隆介 (中2)

区間タイム 10分45秒 区間順位 29位



駅伝で5区を走った大関です。

先日の駅伝は、僕にとっては初めてでありチームにとっても一年に一度の「駅伝」という競技でした。今までの大会とは違う緊張の中走る3kmは、心身ともにとっても辛かったです。その中、聞こえる仲間や先生、保護者の声にとっても励まされました。しかし、後半に自分の力が足りずペースが落ちたことが申し訳なく、これからの課題となりました。

他にも他校の選手との競りが足りなかったことなど多々反省すべき点があります。それらの足りなかった部分を一年かけて自分の強みに変えていきたいと思います。

そして、今回の駅伝では自分が走ったタイムがチームのタイムに加算されることの意味を学びました。うれしくもありとても酷でもあるその仕組みは、僕にとって大きく何かを得るきっかけをくれました。それも踏まえてこれからの練習に臨みたいと思います。最後に、応援してくださった方々本当にありがとうございました。

6区 3000m 伊東 邦泰 (中3)

区間タイム 10分51秒 区間順位 55位



今回、6区を走った伊東です。

自分は初めての駅伝でアンカーということだったので、メンバーが決定した日からかなり緊張していました。メンバー発表の日から駅伝当日までの時間は、今振り返ってみると本当に一瞬でした。駅伝当日は体調もかなりよかったです。個人としては順位を守りきることができず、タイムも自己ベストに程遠く、結果としてみんなの足を引っ張ることとなり、自分の実力の至らなさを痛感しました。しかし、チームとして走ったことから得た経験は大きく、目標タイムには届かなかったものの、チームの一人として走る難しさ、また走り抜いた後の達成感はとても大きく、走ることの楽しさを再確認できた大会でした。

最後に、当日朝早くから準備、応援してくれた陸上の皆、先生方、保護者の皆様、本当にありがとうございました。